



44期学年通信

# 「窓」

福島県立福島東高等学校  
第1学年 第8号  
令和5年11月6日

～学年主任より～

先週末にインフルエンザに罹患し、しばらくお休みをいただいております。インフルエンザの流行はこれから本格化します。インフルエンザのA型はウイルスの種類が複数あるようで、一度罹ったから2度目は罹らない、というわけではないようです。マスクや手洗いうがいなどの感染症対策は継続して行う必要があります。

さて、今回は中間考査で高得点を取った人たちに協力してもらい、普段や考査前にどのように学習に取り組んでいるかを聞きました。参考にしてみてください。

## ●勉強一般

①夜は潔く寝て起床から朝食までの30分間を単語テストや予習に使う

②考査2週間前はSNSを使わない

③論理表現はQuizletを活用し楽しく学習するようにしている

英語は書くだけでなく読む、発音してみる

④集中できる時間を自分で理解する

⑤早寝早起き朝ごはん

・私はノートに書く事が面倒くさくなってしまうので、Quizletは本当に便利です。

・考査が終わったら自分がしたい事や買いたい物などを目標を立ててモチベーションを上げています。

・平日は放課後部活で忙しいですが、その日の授業で習ったことを問題集で解いたり、ノートを見返したりして最低でも30分程勉強しています

## ●国語（現代の国語、言語文化）

・テスト前に配られるプリントを繰り返し解き、特に文法的なものは何回も解き直しています

・テスト範囲のノートをよく復習する

・範囲の問題プリントを何回も解き直する（特に間違えた問題を中心に）

・漢字は正確に覚える、書く

・原文の日本語訳や書き下し文、単語の意味を正確に覚える

・動詞や形容詞の種類、活用形、意味も確認しておく

・教科書の本文を自分で現代語訳出来るようにし、文法事項、単語の意味、先生が授業中に言っていたテストに出そうなところを確認します。配布されたプリントも2回は解くようにしています

・授業のノートと配布されたプリントの内容を、別のノートにまとめながら覚えています

## ●数学（数学Ⅰ、数学A）

・考査前だけでなく習慣的に少しずつ取り組むことにしている。問題をたくさん解くようにしている

・授業の復習と応用問題をワークでやり間違えた問題や解き方が解答と異なる場合は回答の解き方を自分なりに訳して、別の日に同じ問題を解いて定着させる

・友達に分からないところを聞いたり、逆に友達が分からないときは解き方を教えたりすることでより速く正確に定着させることができる

## ●英語（英語コミュニケーションⅠ、論理・表現Ⅰ）

～英語コミュニケーションⅠ～

・本文を何回も声に出して読む

・単語はすべて意味とスペルをしっかりと覚えるまで書く

・ワークの問題を何周もする

～論理・表現Ⅰ～

・例文を日本語から英語に、または英語から日本語にできるように、書いたり声に出したりして覚える

・単語はすべて意味とスペルをしっかりと覚えるまで書く

・教科書にしっかりと目を通す、ワークは間違えた問題を中心に解き直しをする

・平日はリープを暗記して、考査前は教科書とワークを暗記しています

・授業プリントやワークブック使って2回以上繰り返し復習しています。しかし、ただ繰り返しやっているだけでは丸暗記になってしまうので、文法を覚えようという気持ちで勉強しています。また、プリントやワークブックを解いて答えを間違ってしまったときは、印を付けて2回目解くときにどこを間違ったか分かるようにしています。

## ●理科（生物基礎、物理基礎）

～生物基礎～

・用語の意味を確認し、自分で説明できるようにします。ワーク2周をしてできなかった問題は教科書で調べて、できるようになるまで繰り返します

・授業は話を聞きながらメモをしたり、教科書に直接書き込んでいる

考査前はノートを見返したり、教科書を読んで用語について確認する

また、ワークやプリントも答えの丸写しはなるべくせずに取り組み、分からないところはみて理解出来るようにする

・平日は授業をしっかりと聞き、考査前は授業の復習を行いワークを繰り返し解いています

～物理基礎～

・平日はその日のワークをやる、授業で分からなかったところをスタサプで補う

考査前は、1週間前までにワークを1回終わらせテストの前日で何周もわかるまでやる

・公式の確認、授業プリントの解きなおし、ワーク2周をします。わからなかった問題はなぜそうなるのかを自分で考え、理解できるまで繰り返します

## ●社会（歴史総合、地理総合）

・テストでは世界各地の出来事が起きた順に並び替えなどで出題されることがあるので、テスト範囲になっているところを時系列で整理してからワークなどに取り掛かりました

・地理総合は単語を一つ一つ覚えるのではなく原因と結びつけて理由も説明できるように学習している

・歴史総合は戦争のあらすじを一つの物語として覚えるように学習している

・教科書を何回も読んで、太字である重要語句は意味を含めてノートに何回も書いたりしました。また、授業で配られるプリントはテストに出される内容が多くあるので、隅々まで勉強しました。

・先生から配られたプリントを振り返る

・平日は地理の用語集などで用語を覚えています。考査前は授業プリントを確認してからワークを解いて、間違ったところはもう一度解いています。普段からニュースなどで気になった地名などを調べたりしていると自然と覚えられます。

《裏面に続く》

## 〈数学Ⅰ〉

～平日～

- ・3TRIAL で、その日に学習した内容の問題を解いて復習する。その際、解答を見ても分からないことがあったら、具体的にどこがどう分からないのかを明確にしたうえで、先生に質問して解決する。
- ・忘れたところに、解かずに残しておいた3TRIAL の問題を解く。

～査前～

- ・3TRIAL で解いた問題の解き方をもう一度確認する。
- ・範囲内の FocusGold の例題を、解説をよく読みながら解き、練習問題で確認する。解答の書き方や解く手順、考え方がしっかり身に着くまで、前に解いた問題や、類題を解く。

## 〈数学A〉

～平日～

- ・3TRIAL で、その日に学習した内容の問題を解いて復習する。その際、解答の書き方、言葉の使い方に注意して、自己採点を行う。また、全体的に見やすい解答になっているか、一文が長くなっていないかにも注意する。
- ・問題文から、どんな考え方で解けばいいのかを読み取りながら、慌てず解答を書く練習をする。

～査前～

- ・3TRIAL で解いた問題を、それぞれの問題の考え方や解答の書き方を中心に復習する。
- ・範囲内の FocusGold の例題を、解説をよく見ながら解き、練習問題で確認する。また、問題の解き方、解答の書き方がしっかり身につくまで、前に解いた問題や、類題を解く。

## 〈英語コミュニケーションⅠ〉

～平日～

- ・授業で、教科書本文の内容がよく理解できるように、あらかじめ自分で本文を読んでおく。
- ・分からない単語や、新しく出てきた単語を見つけたときは、すぐに意味を調べて、単語カードに書く。そして、その単語カードで、寝る前や、朝起きた後などに単語を学習して、記憶を定着させる。(教科書本文だけでなく、SWITCH や問題集、模試など、様々なところで分からない単語が出てきた時にいつもそうする。)
- ・毎週ある LEAP の学習で、単語のスペルや意味、発音をしっかりと頭に入れる(英語の自主学习ノートで、苦手な単語の練習や、例文を使った書き取りテストをしたりする)。

～査前～

- ・範囲内の教科書本文を音読して、使われている前置詞など細かいところまで復習する。
- ・範囲内の単語(本文、LEAP など)を、意味や発音が3秒以内にでてくるように練習する。また、スペルが怪しい単語の書き方を、定期的に確認する。
- ・リスニング ラボラトリーで行った内容を、もう一度聞いて復習し、問題の形式に慣れる。
- ・Advanced Exercises(教科書の問題集)を、特に、単語の意味が英語で書かれた問題や、英文に訳す問題で使った表現に焦点を当てて、内容をしっかり理解しながら解く。

## 〈論理・表現Ⅰ〉

～平日～

- ・通学時を利用して、例文暗唱シートの例文と、ボキャブラリー確認シートの語句を暗記する。その時、例文暗唱シートのほうでは、使われている文法をよく意識しながら、自分で文を組み立てるようにして、声に出して覚える。
- ・新しく学んだ文法は、ノートにまとめ、気づいたことなどをどんどん書き込んで理解を深める。
- ・ワークブックの予習をする。また、その時わからなかった単語を、単語カードに書いて覚える。

～査前～

- ・通学時を利用して、範囲内のすべての例文暗唱シートの例文や、ボキャブラリー確認シートの語句を復習する。また、査に近くなってきたら、例文や語句をノートに書いて、スペルを確認する。
- ・グラマー導入シートの、例文以外の文も復習する。(使われている文法、語句など)
- ・ワークブックをもう一度解き、文法を復習する。

## 〈歴史総合〉

～平日～

- ・その日学習した内容を、ノートにまとめる。そのとき、出来事や人物を、まとまりごとに区別して、その中で順序をよく理解しながらまとめる。また、出来事の内容や、起きた理由は、ほかの出来事との関係を考えて覚える。
- ・わからない言葉があったらすぐに調べる。
- ・ノートにまとめる際、資料集も見て、資料と、これまで学習したことを結びつけながらまとめる。また、スタサプには、授業で習ったこと以外の内容もたくさんあるため、時間があるときはそちらも確認してノートにまとめる。

～査前～

- ・ノートにまとめたことを声に出して復習する。
  - ・問題集の記述問題を、どの出来事を述べたものかよく理解したうえで、使う言葉に気を付けながら復習する。
  - ・問題集で、特に間違いやすかった部分を、教科書や資料集に戻って復習する。
  - ・先生から配られたプリントを振り返る
  - ・平日は地理の用語集などで用語を覚えています。
  - ・査前は授業プリントを確認してからワークを解いて、間違ったところはもう一度解いています。
- 普段からニュースなどで気になった地名などを調べたりしていると自然と覚えられます。
- ・教科書を何回も読んで、太字である重要語句は意味を含めてノートに何回も書いたりしました。また、授業で配られるプリントはテストに出される内容が多くあるので、隅々まで勉強しました。

Special Thanks

今回協力してくれた生徒の皆さん(他にも7名が協力してくれました)

植田晶仁さん 加藤雅弥さん 佐藤歌音さん 丹野慎之輔さん 森大隼さん  
岸村凜音さん 政井宇紗さん 遊佐楓音さん 森彩隼さん

学習時間について聞いてみましたが、平日の勉強時間は30分～1時間がほとんどでした。査前は2～3時間。毎日コツコツ積み重ねていく習慣が身についている人であり、何をすれば良いかを把握している人が多い印象でした。共通していることも多いですね。さあ、みなさんも、日々の学習習慣の構築と、何をどのように学習するか明確にして学習を始めてみましょう。次の定期査(2学期期末査)は11月27日からです。